

平成26年度 一般会計 決算 (主な質疑)

総質疑数 212件
・本会議 110件
・委員会 102件

まちづくり・くらし

ホームページ 業者選定と 委託料

問 リニューアルされたホームページを見ると、仕様や内容が嵐山町のものと同じ類している。業者の選定と、業務委託料416万円は妥当だったのか。

答 業者については、同じであろうと思っております。予算の設定をし、数社に募ったところ実際に応札されたのが1社でした。プロポーザル方式¹で提案を受けて決定したところですが、実績もあ

り極めて有能な業者だと理解しています。参考までに、以前は年間のアクセス数が約5000件だったものが、リニューアル後は20万件と飛躍的に増加しています。委託料は他自治体と比べても、低額で良心的な金額です。

特別土地保有税 滞納額は2億 7000万円超

問 当町にとって長年にわたる懸案事項である。動向は。

答 大口の法人が3社ありましたが、今回その1社の所有する土地を全て公売等で売ることができました。あわせて、その法人については資産がまったくないという状況が確認できたので、地方税法の規定に基づき不納

ルファ米・缶入りパンとビスケット・飲料水・200ボルト対応の発電機3台・ストーブ・懐中電灯等を購入しました。強いて言えば、缶入りパンは比較的やわらかく誰でも食べられるので、高齢者でも食べやすいものだと考えています。また、赤ちゃん用おむつや粉ミルク、おかゆもある程度ですが備蓄しています。

遊具の点検は

欠損²処分をしました。残る2社については、安易に不納欠損をするというのではなく、しっかりと債権を確認しながら、収納に向けた処理を粛々と行ないます。また、県の担当課からの助言をいただく中で、対応を具体化し進めていきたいと思えます。

問 町内の公園において、園内灯が倒れ危険な状況にあった。遊具等の点検は行なわれているのか。

答 公園台帳を作成しており、研修を受けた職員が年1回点検を実施しています。危険な園内灯・遊具・樹木は撤去する等、早急に対処するようにします。

町の財産 町指定文化財の 保護対策

問 保護対策は十分か。また、下草伐採を要する場所の対応は。

答 現在、町で指定している45件の文化財に対して、少額ですが1件につき年間3000円の補助金を基本とし、所有者に維持管理をお願いしています。また、例えばこれが壊れてしまったり、天然記念物の場合は枯れてしまった等の報告があれば、町・県の補助等を活用し、修繕や回復といった努力をしています。下草伐採については、シルバー人材センターや地元の保存会にお願いしている箇所もあります。当然町としても管理の責務がありますので、訪れる方に不自由がないよう努めます。



ぎょうにんづかつくぐん 行人塚塚群 (上横田地内)

子育て・教育

総合的な学習の時間 みずから学び・みずから考える力の育成

問 「総合的な学習の時間³」の効果的な実施は。

答 6月議会で提案のあった「子ども議会」の準備を進めています⁴。18歳選挙権を目前に効果的であると考えます。平成5年の資料を参考に進めたいと思います。



学童クラブで宿題

学童クラブ 放課後児童の 健全育成

問 子ども子育て支援新制度の施行に伴って、開所時間の延長に係る人件費等に補助金を得られたりと、実際に保育時間の延長がなかった学童クラブもある。保護者のニーズを受けて、時間外や土

日の受け入れといったことも展開されているのか。

答 町内7学童クラブのうち、6カ所は19時までで、残る1カ所については18時30分まで開所しています。また、長期休業中は、おおむね7時30分から19時までが基本となっています。

開所日については、各クラブともに年間で29

一時的保育事業 利用者が大幅増

0日前後。年52週として平日5日間で260日。残る30日程度が長期休業中等の開所になろうかと思えます。

問 大河保育園に続く

福祉・医療

乳がん等の検診推進 働く世代の 女性支援

問 乳がん・子宮頸がん検診推進事業の受診率は。

答 受診率は、乳がん検診が215人で40%、子宮頸がん検診が190人で17%です。

問 事業の進捗状況は。

答 台風等で土砂崩れが発生し、土どめ等のアンカー工事が必要になったため、工事の遅延がありました。それ以外は順調です。

小川日赤支援事業 業費3億円

観光整備

埼玉伝統工芸会館運営費 細川紙のユネスコ登録を受けて

問 和紙を目的に訪れる来館者の満足度は。

答 手すき体験や和紙職人との対話を望む声にこたえています。関連施設との連携と館内の和紙に関するスペースの拡大を考えています。

問 観光資源としての活用は。

答 国史跡の指定を受け、本格的な保存・活用については、平成27、28年度の2カ年で文化庁の指導のもと、進めていきたいと考えています。

板碑採掘遺跡群 保存と活用

¹複数の者から企画を提案してもらい、その中から優れた提案者を選定することです。
²滞納している徴収金が徴収できなくなったとして、その調定の金額を消滅させることです。

³みずから課題を見つけ、みずから学び・考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるなどをねらいとしている学習時間です。
⁴平成28年秋ごろから予定しています。